

## 2020年度 LCA国際小学校 学校関係者評価結果

LCA国際小学校では、「信頼できる学校づくり（教育の質・保護者への連絡の正確さ）、子どもの英語教育センターとしての機能の充実（教材・プログラム・人材）を中・長期の重点目標として学校運営を行ってきました。特に今年度は「ICTを活用しながら教育の質の向上を目指し、また保護者との連携を深める。」「新学習指導要領の全面实施に伴い、より実践的な授業研究・研修を行い、授業の質を高める。」を重点目標としてきました。さらに教育活動と学校運営に分けた上で、目標を具体的に設けて学校運営を行い、児童アンケート・保護者アンケート・教職員アンケートの結果も踏まえて、自己評価を行いました。

2021年2月には保護者の代表（低学年・中学年・高学年より1名ずつの参加）にお集まりいただき、学校関係者評価委員会を実施しました。当日は学校側から自己評価の結果を説明した後、学校への要望や期待について率直なご意見をいただき、保護者の視点を知るための機会としました。いただいたご意見等は、今後の教育活動や学校改善計画の参考として活用してまいります。

### 学校自己評価を受けての感想、また学校への要望・希望など。 （保護者意見のまとめ）

- ・ 休校期間中のオンライン授業については、家庭に事前にパソコンやWi-Fiの確認もなく動画配信がスタートしたので、動画配信の授業が突如として始まって大きな混乱を感じた。最初から先生のライブの授業をしてほしかったと思った。LCAにはイマージョンというかたちで子どもが英語に浸れる環境を期待して通わせていたので、先生と直接話す時間がとても短く感じた。正直、あの時期の授業内容には不満を感じた保護者も多かったのではと思う。
- ・ 動画配信の内容は、学年によってはちょうどよい内容であったが、学年によっては似たような授業が多いことに少し物足りなさを感じたものもあった。
- ・ 複数の兄弟姉妹を通わせているご家庭に回線の配慮をしていただけたらと感じた。
- ・ 学校に通える残りの期間や受験なども考慮し、6年生だけはオンラインにしてほしかったと思う。英語力の維持・向上という意味で、あの半年は本当に痛かった。
- ・ ICTがらみの今年度の上半期の対応については、保護者とのコミュニケーション不足を感じた。目標にある「保護者との連携を深める」という意味では、前半は厳しかったのかなと思う。ある時期から保護者会を開いていただくようになって、そこからは評価できるかなと思う。
- ・ 保護者会は最初の1、2回は日中であった。日中だと子どもを預けた状態で参加できるので助かったが、途中から夜になったので参加しづらくなった。夜でもいいので、オンライン（双方向型）等で行えたらよかったですと思う。

## 学校より（教職員の返答のまとめ）

- ・ 機器の整備の確認をせずに動画配信を始めてしまったことについては反省している。動画配信にした理由としては子どもがYoutubeに親しんでいることなどを考慮、また日中に時間がとれなくても、動画ならご家庭に都合の良い時間に見れる、繰り返し見られるなど、教員間で熟議の末、決定した。
- ・ 今後も、コロナにかかわらず、ICT機器を使うことは増えていく。突如として始まったコロナ禍の中で、すべてのことが一気に始まったので、それで後手に回ってしまったことを反省し、今後に生かしていく。
- ・ 教科指導については、授業の質の評価ではなく、子どもが理科の内容を英語で本当に理解しているのか、なんとなくになってしまっているところがあるのではないかと、言語の壁で想像以上に理解が至っていない点があるのではないかと、教員間で常に問題意識をもって点検していく必要があり、自分たちのより一層のコミュニケーション、授業づくりの連携が必要なのではないかとの考えで、その在り方を模索をしているところである。算数も同様の考えで、今年、コロナでできなかったことがあることを踏まえて評価をした。来年度以降、さらなる質の向上に向けて取り組みを続けたい。

学校関係者評価委員会でいただいたご意見は今年度の学校評価シートに反映させていただきました。また、今後の教育活動や学校改善計画の参考として活用させていただきます。



（学校関係者評価委員会の様子）



（保護者代表の内1名はオンラインで参加）